

## お知らせ

愛媛大学大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座では、良質な医療を皆様に提供するために、通常の診療業務に加えて、「フォンタン循環における腎機能低下要因の検討」の研究を行っています。

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 2 月 28 日一部改正）（以下「倫理指針」という）を遵守し、患者さんの試料/情報の一部を使って実施します。

1. 研究責任者の氏名：

愛媛大学大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座 教授  
檜垣 高史

2. 研究の概要（研究の方法等）

フォンタン術後患者では、心臓以外の臓器障害の合併が懸念されてきております。その中でも腎機能障害が現在注目されており、愛媛大学大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座では、高知大学思春期小児科学講座と協力して、フォンタン術後患者の腎機能に関して調査しております。上記患者様を対象に、これまでに行われた心臓カテーテル検査データと、その時に行われた血液検査データを後方視的に診療録を用いて調査し、腎機能悪化に関わる血行動態因子を解明しようとしています。

3. 研究方法に関する情報を入手／閲覧したい場合、相談窓口

この研究方法に関する情報について知りたいことや、ご心配なことなどがありましたら、以下の相談窓口先にご連絡ください。

《相談窓口》

愛媛大学大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座

TEL：089-960-5068

4. 個人情報及び倫理的配慮

個人情報は匿名化（名前や住所などが特定できないようにすること）します。

また、研究結果などに関して学会発表や学術論文発表などをする場合も個人情報は一切使用いたしません。

この研究に係る費用については、患者さんのご負担は一切ありません。

診療録から得られた検査データの利用は、患者さんから個別に同意を頂かず、揭示及び臨床研究支援センターホームページ等でお知らせし、拒否のお申し出がなければ同意が得られたものとして実施させていただきます。

この研究の趣旨にご協力いただけない場合は、お手数ですが、愛媛大学大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座（上記の相談窓口）までお申し出ください。

ご協力いただけない場合でも患者さんの不利益となるようなことは一切ございませんのでご安心ください。

愛媛大学大学院医学系研究科

地域小児・周産期学講座 檜垣高史